

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			療育・小学生・中高生で部屋を分けている。年齢や活動に応じて部屋を使い分けながら過ごしてもらっている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			長期休暇や休日等は利用者の利用開始時間や利用人数によって早番等を配置し、職員体制を整えている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関にはスロープを設置。身障用トイレも完備し、各フロア段差もなく、車いすの移動もスムーズに出来る。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々、職員間で話し合いながら改善が必要な支援や場所については適時、改善しながら取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケートで多かった意見に関しては事業所内で勉強会を実施して改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、選出していく方向で検討中。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修案内は全職員が確認出来るように掲示し、各職員年2回以上は研修の機会を設けている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントシートは契約時に記入してもらい、定期的に更新している。サービス計画書作成前に保護者の方の希望も聞き取りながら、要望があれば支援計画に反映している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	個別療育をおこなう上で一定の能力が把握できるようなソフトを近々導入予定。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			各クラスを担当する職員で、プログラムの立案を行なっている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎月、クラス担当職員を入れ替えながら、活動プログラムの固定化を防いでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇や休日には、四季にあった色々な体験や活動が出来る機会を増やしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動と個別療育を日替わりでおこない、個々の課題をサービス計画に反映している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動内容・役割や療育内容等も事前に話し合いながら取り組んでいる。また、外出やイレギュラーな活動の時は計画書を作成し、職員の役割分担を明確にしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			情報共有が必要な内容については、毎日職員間で共有しながら次の支援に繋げている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援目標に沿って、日々の活動・個別療育などの記録をして振り返りを行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1度モニタリングを行い、計画の評価や見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			クラスに応じて、様々な活動を取り入れている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		養護学校では、各利用者の引き継ぎや情報の開示を求めるも、なかなか必要な情報を得ることが出来ないが、必要に応じてケース会議には参加している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要な利用者がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保育園や幼稚園との情報交換までは出来ない分、保護者からの情報が主である。児童発達支援事業所には情報交換の提案をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		問い合わせがあれば情報提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			出来るだけ色々な研修に参加するようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後の課題として検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎やお迎え時に子どもの状況を伝えあっている。その他はモニタリングの時にも対応している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			必要に応じて支援をおこなったり、保護者の話や悩みを聞くなどして不安や悩みの解消にも努めている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約の際に重要事項等は説明し、常時閲覧できるよう掲示している。また、利用負担額に変更があれば、随時、伝えている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			普段から自宅や学校の様子を伺いながら、保護者が話しやすい雰囲気作りに努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者へのアンケートで、保護者会の必要性についてのニーズは少なかった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者から苦情があった場合、速やかに職員間で原因と今後の対応を協議し、苦情元に報告するとともに、苦情報告書を作成して書面で保管している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月1回、活動内容や連絡事項を記載した広報を利用者・家族に配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもにはそれぞれに伝わりやすい話し方や視覚支援を行い、保護者に対しても毎日の様子を伝えている。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	行事に招待するなどの取り組みはしていないが、近所の方に畑を借りたり、活動の一環として清掃活動を取り入れるなど、一部で地域との関わりを持つことは出来ている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	職員への周知はしているが、保護者への周知までは至っていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回実施している。消防署からも来てもらい、消火器の使い方等も指導してもらっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部の研修等に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			車椅子を利用されている方に対しては、安全ベルトでの固定を承諾してもらう為、サービス計画ではなく、別途、承諾書を用意し、了承を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食物アレルギーについては、保護者に確認をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			